

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	糟屋子ども発達センター・さくら保育園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年3月3日		～	令和7年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な発達領域の発達を促す専門的な支援プログラムを準備している。	・小集団療育とSSTグループを設定している。 ・SSTグループに関しては、プレイリーダー、サブプレイリーダー等、それぞれの職員に役割を設定している。	個々の職員の知識と技術の向上を図っていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	取り組んでいること（避難訓練研修・勉強会等）が保護者に伝わりにくい現状がある。	お便り、広報誌、HP等で公表しているが、目に行き届きにくい可能性がある。	・広報紙やHPでの発信の仕方、表記の仕方を工夫する。 ・広報誌はデイサービスに関しては、発行回数が少ないため、回数を増やしていく。
2	家族支援の取り組みが不十分	連絡ノート、広報誌、電話・ライン、送迎時の口頭引き継ぎ、面談等でやりとりしているものの、保護者の就労状況等によっては、関わりが持ちにくかったり、広報誌や連絡ノートを見られていないことがある。	・家族相談や保護者同士での交流の場を作っていく。 ・保護者それぞれの状況に合わせた連絡・伝達手段を検討していく。 ・送迎時や保護者送迎時の引継ぎに加えて、個別的な面談や電話等でのやりとりの機会を増やしていく。
3			